

2022年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	東京大学大学院教育学研究科 臨床心理学コース 博士課程	助成金額	500,000 円
氏名	中山 莉子		
研究や活動等のテーマ（申請書に記入した内容を記入すること。）			
認知症高齢者と家族間の関わりとコミュニケーションに関する研究—家族による「認知症による変化」の理解に着目して—			
助成金の使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）			
<p>【研究の背景】近年、認知症高齢者は増加の一途を辿っており、今後は在宅の認知症高齢者のますますの増加が予想される。在宅認知症高齢者の増加は、住み慣れた地域で住み続けることが出来るという利点だけでなく課題もある。その1つが認知症高齢者と家族間の関わりの困難である。これまで推奨されてきた認知症高齢者と家族の関わりは、認知症高齢者の精神的健康の向上に効果が示されてきたが、認知症になる前のその人を知る家族にとっては困難を伴うという課題があった。例えば、「認知症による変化」を理解することの難しさである（e.g. Morris, 2020）。認知症による変化とは、認知症高齢者が日常生活において家族を頼ることが増えたり、家族が知っている話とやや違う話をしたりといったような「正常な老化や元来の性格などは明確に区別しがたい内的な変化」である。このような曖昧な変化は、これまでの関係性を持つ家族だからこそ難しい。以上より、本研究では、認知症高齢者と家族の精神的健康に影響するコミュニケーション要因の1つとして考えられている「認知症による変化」に対する家族の理解に着目し、認知症による変化に対して家族がどのような理解をする時に家族はどのように関わり、それが双方の精神的健康にどのような影響を及ぼすのかについて解明することを目的として研究を実施した。</p> <p>【研究内容と成果】家族の関わり（コミュニケーション）の特徴と家族の認知症の理解の仕方と精神的健康の関係について調べるために、申請時に以下の3つの研究を計画した。一つ目は①「認知症による変化」に対する家族の理解尺度」の作成、二つ目は②「家族の関わり尺度」の作成、三つ目は、①②で作成した尺度原案と認知症高齢者とその家族の精神的健康との関係についての検討である。一年間の研究活動の結果、②「家族の関わり尺度」の作成を暫定的に完了した。①「認知症による変化」に対する家族の理解尺度」についてはデータ収集済みで、現在分析中である。③は今後実施予定である。研究の結果、②について、要介護認定のある全国の地域在住の65歳以上高齢者を介護する家族介護者のうち、何らかの認知症の症状がある人の介護者2048名を対象に分析を行った。「家族の関わり尺度」は、「認知症高齢者の家族のコミュニケーション行動尺度原案」（6因子24項目）とし、「あなたはご本人様に普段関わる中で、以下のようなことがどの程度ありますか?」と尋ね、5件法で回答を求めた。探索的因子分析を行った結果、【本人の心理状態の優先】因子、【本人の受容のための配慮】因子、【本人の行動様式への調節】因子、【双方の意思の尊重】因子、【本人の意図をわきに置く】因子、【本人の意思の拒否】因子の6因子が得られ、確認的因子分析の結果、妥当性も検証された。②については分析途中であるが、【本人に結びつけて理解する】因子と【認知症として理解する】因子に分かれた。</p> <p>【今後の活動】「認知症高齢者と家族のコミュニケーション尺度」の論文化（量的分析）を進める。加えて、コミュニケーション尺度とその他の変数（うつや介護負担感）との関連についても調べ、家族介護者の方のコミュニケーションの特徴に応じた支援に役立つような知見を目指す。加えて、認知症高齢者の理解尺度の分析を進め、尺度原案を完成される。必要に応じて、追加データを収集する。</p>			
助成金の使用金額及び使途			
<p>【支出の内訳】書籍代…39,213円、文具・論文投稿にかかわる郵送費…13,803円、PC・PC周辺機器・サブスクリプション費用（英文校正ツール、クラウド）…228,533円、論文提出に伴う英文校正…11,401円、学会年会費…10,000円、学会参加費…63,906円 合計：36,6856円 残金：133,144円</p> <p>【今後の支出予定】論文投稿費用と追加のデータ収集等に利用する予定である。</p>			
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合はURLを記載すること。）			
<p>①第18回応用老年学会 ポスター発表「認知症高齢者の家族介護者のコミュニケーション尺度の作成」</p> <p>②認知症ケア学会に「認知症高齢者と家族のコミュニケーション尺度（質的分析部分）」についての原著論文を投稿中</p>			